



操法開始。その数十秒にすべてをかける!!



主催 館林地区消防組合 邑楽消防団

# 第40回 ポンプ操法競技大会

期日 **6月30日** 雨天決行

時間 **午前8時30分**～

会場 **役場南側駐車場**

大会当日は、消防車が勢ぞろいします。お子様連れでぜひご来場ください。

▶ 問合せ先 邑楽消防署 ☎88-5551

出場の順番	管轄している地区
1 第1分団第2班	下中野、前谷東原、前瀬戸宿、千原田向地、鶴上、鶴下、鶴新田
2 第2分団第3班	秋妻
3 第1分団第3班	前原、天王元宿、十三坊塚、大根村琵琶首、谷中蛭沼
4 第2分団第1班	藤川
5 第2分団第2班	一本木、渋沼
6 第2分団第4班	石打、住谷崎
7 第3分団第2班	坪谷
8 第3分団第5班	古家、大谷端宿赤東、開拓
9 第3分団第3班	水立大黒、十三軒、十軒
10 第3分団第4班	店高原、本郷江原
11 第3分団第1班	西ノ根宮内中島、馬場大林、寺中
12 第1分団第1班	横町化楽、上下西宿、光善寺、新中野、明野

邑楽消防団の構成は3分団12班です。団員121人(団長、副団長2人、分団長・副分団長6人、団員112人)から成り立っています。

団員の威信と誇りをかけた熱き闘いを、あなたは目撃する。



# 男達の熱き消防団魂

Closeupクローズアップ

ポンプ操法競技大会に迫る



消防団とは、地域の住民たちで構成される市町村の消防機関。ひとたび火災や災害が発生すれば、職場や家庭などから駆けつけ、消防署員と連携し、消火活動や救助活動を行います。

## ポンプ操法競技大会とは

ポンプ操法競技大会は、館林区消防組合管内で、毎年行われている大会です。消防団員が火災現場で使用される機械器具などの基本的な取り扱いと、ポンプ車(消防車)などの操作方法の習得を目指す。団員が火災現場で対応できる体制の確立を目的としている大会です。

競技は簡単に言うと、いかに早く的確に火災に見立てた標的(火点)を放水で倒すタイムを競うものです。出場選手は各班から5人ずつ。指揮者(全体の指揮や号令をかける)・一番員(一回目の放水)・二番員(二回目の放水)・三番員(放水命令などの伝令)・四番員(消防車の操作)です。

## 家族や地域の人たちに 見てほしい団員の姿

団員の皆さんは、仕事の傍ら大会に向けて訓練をしています。仕事を休んで訓練に合わせ、集合すること自体、大きな負担となっていることも課題になっています。

しかし、火災現場では、誰も機械器具の取り扱い方を教えてくれない。大会が技術を磨き上げ、かけがえのないものになっていることもまた否定できません。



## 規定タイムの壁を突き破れるか

第一線放水(一回目放水)までの規定タイム55秒、第二線放水(二回目放水)までの規定タイム65秒。この規定タイムを切れるかが、勝敗を大きく分けます。その一方で操作の正確さや、団員の節度も審査の対象になります。こうした視点からご覧になると、ポンプ操法競技大会をより楽しめます。

地域の人たちに少しでもその活動を知ってもらいたい、ポンプ操法競技大会には、そんな団員たちの想いも込められています。ご家族連れで、ぜひお越しください。この機会にお父さんの雄姿を、息子さんの一生懸命な姿を、ご覧になってみてはいかがでしょうか。

## 操法を制する団結力と訓練で磨き上げられた技

各班から選ばれし精鋭達。それぞれの使命を帯びて大会に臨む

### 指揮者



操法の指揮、命令を下す指揮者の「一線延長。乗車!」の合図とともに、各番員が消防車両に乗り込み操法に入る。唯一にして、絶対の操法指揮官

### 一番員



放水の先陣を切る第一線放水(一回目放水)を行う番員。二番員との連携も重要なカギとなる。チームの先陣を切つて放水する切り込み隊長

### 二番員



チームのスーパーエース第二線放水(二回目放水)を行う番員。各班とも気力・体力、そして走力が充実している者を抜擢。チームのスーパーエース

### 三番員



職人の技が光る競技中、走行距離や器具の取り扱いなどがもっとも多く、二番員との連携も要求される。その多彩ぶりは、まさに操法職人

### 四番員



操法成功のカギを握る大会では放水圧力を間違えただけで即危険となり、大減点となる。緻密なスロットル操作が要求される。操法のキーマン